

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年2月12日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,322	10.4	1,820	△9.1	1,742	△13.7	1,091	△13.5
27年3月期第3四半期	12,973	48.1	2,003	128.0	2,018	119.0	1,262	109.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,085百万円(△14.1%) 27年3月期第3四半期 1,263百万円(97.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	48.53	—
27年3月期第3四半期	56.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	37,063	15,217	41.1
27年3月期	32,667	14,312	43.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 15,217百万円 27年3月期 14,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.0	0.0
28年3月期	—	—	—		
28年3月期(予想)				9.0	17.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年6月30日に開示いたしました、「剰余金の配当に関するお知らせ」のとおり、平成27年7月21日を基準日とする剰余金の配当(1株当たり8円)については平成27年8月27日に行いました。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,700	△2.6	1,850	1.9	1,840	17.7	1,100	162.7	48.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローは、重要性が増したことから、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期3Q	22,500,000株	27年3月期	22,500,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	4,471株	27年3月期	4,321株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期3Q	22,495,630株	27年3月期3Q	22,495,770株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日)におけるわが国経済は、政府によるデフレからの脱却と経済再生のための諸政策により、景気は一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いております。ただ、米国の金融政策が正常化に進むなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクの顕在化が懸念される状況にありました。

当社グループのコア事業の主要マーケットとなる遊技場業界は、レジャーの多様化や個人所得の伸び悩みから遊技参加人口の減少と遊技投資金額の減少傾向の影響を受け、ホール経営の先行き不透明感が一層強まり、とりわけ年間最需要期にあたる第3四半期において設備投資が極めて抑制的でありました。

このような事業環境の中、当社グループは、開発・製造・販売・アフターサービスの一貫体制をもって付加価値向上に努めると共に、機器事業における周辺設備機器においては、低騒音・省電力とメンテナンスフリーを実現した『樹脂研磨式メダル自動補給システム』及びセキュリティ管理と貸し玉複数単価の営業をスマートに実践する『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に引き続き注力いたしました。

なお、遊技機は、第3四半期にリリースしたパチスロ機の販売が予想値を大きく下回りました。これにより機器事業全体の収益は前年同期を下回ることとなりました。

不動産事業は、安定的な収益を確保いたしました。

介護福祉事業は、連結子会社/株式会社アルプスの杜が有料老人ホーム等4施設を運営しております。

電気事業は、連結子会社/神奈川電力株式会社が運営する神奈川県内の太陽光発電所2箇所(発電能力合計4メガワット)に加え、栃木県内の太陽光発電所(発電能力20メガワット)が第3四半期に稼働いたしました。

コンテンツ事業においては、株式会社インターグロー及び株式会社レッド・エンタテインメントの連結子会社の2社がパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高14,322百万円(前年同期比10.4%増)、経常利益1,742百万円(前年同期比13.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,091百万円(前年同期比13.5%減)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高12,315百万円(前年同期比1.8%減)、セグメント利益2,134百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高421百万円(前年同期比1.9%減)、セグメント利益212百万円(前年同期比27.6%減)となりました。

(福祉介護事業)

福祉介護事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高575百万円、セグメント損失76百万円となりました。

なお、福祉介護事業は、前第3四半期連結会計期間末より新規連結であるため、売上高及びセグメント利益の発生はありません。

(電気事業)

電気事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高232百万円、セグメント損失14百万円となりました。

なお、電気事業は、前連結会計年度末より報告セグメントとしております。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高777百万円、セグメント利益39百万円となりました。

なお、コンテンツ事業は、連結範囲の変更に伴い第1四半期連結会計期間より報告セグメントとしております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成27年3月31日)に比べ4,396百万円増加し、37,063百万円となりました。

なお、前連結会計年度において非連結子会社でありました株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを重要性が増したため連結の範囲に含めております。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ726百万円増加し、16,539百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加(412百万円増)、電子記録債権の増加(926百万円増)、仕掛品の増加(639百万円増)、その他に含まれる

未収入金の増加(333百万円増)、前渡金の増加(109百万円増)及び未収消費税等の増加(360百万円増)の一方で、受取手形及び売掛金の減少(1,476百万円減)、商品及び製品の減少(370百万円減)、原材料の減少(207百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,670百万円増加し、20,523百万円となりました。これは主に賃貸用不動産の取得に伴う土地の増加(283百万円増)、前連結会計年度より建設中であった神奈川電力㈱の栃木太陽光発電所の開設等による機械装置の増加(4,949百万円増)及び建設仮勘定の減少(1,501百万円減)の一方で、連結範囲の変更に伴う投資有価証券の減少等(205百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,490百万円増加し、21,846百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加(488百万円増)、流動負債その他に含まれる株式会社レッド・エンタテインメントを連結の範囲に含めたことに伴う前受金の増加等(234百万円増)、神奈川電力㈱の設備資金調達等に伴う長期借入金の増加(3,496百万円増)、固定負債その他に含まれる長期預り保証金の増加(128百万円増)、栃木太陽光発電所の設備に対する資産除去債務の増加(258百万円増)の一方で、短期借入金の減少(1,123百万円減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ905百万円増加し、15,217百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(912百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は41.1%と前連結会計年度末に比べ2.8ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年6月30日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,382,467	6,794,992
受取手形及び売掛金	5,073,988	3,597,037
電子記録債権	—	926,222
商品及び製品	993,871	623,176
仕掛品	573,915	1,213,298
原材料	1,320,419	1,112,632
コンテンツ	—	36,231
繰延税金資産	203,953	95,292
その他	1,278,250	2,144,454
貸倒引当金	△13,059	△3,405
流動資産合計	15,813,808	16,539,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,700,608	3,627,628
機械装置及び運搬具(純額)	1,073,333	6,031,212
土地	7,742,506	8,026,148
その他(純額)	2,159,179	665,833
有形固定資産合計	14,675,628	18,350,822
無形固定資産		
ソフトウェア	32,545	63,937
のれん	266,385	342,183
その他	12,695	18,428
無形固定資産合計	311,626	424,549
投資その他の資産		
投資有価証券	794,982	589,365
長期貸付金	509,166	469,220
繰延税金資産	1,723	103,500
その他	823,425	832,201
貸倒引当金	△262,900	△245,679
投資その他の資産合計	1,866,398	1,748,608
固定資産合計	16,853,652	20,523,980
資産合計	32,667,461	37,063,913

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,659,939	3,645,919
短期借入金	2,296,000	1,172,450
1年内返済予定の長期借入金	1,499,071	1,987,081
未払法人税等	326,355	268,119
賞与引当金	57,508	15,417
製品保証引当金	18,000	18,000
返品調整引当金	—	2,559
その他	554,538	802,507
流動負債合計	8,411,413	7,912,053
固定負債		
長期借入金	8,105,510	11,602,422
繰延税金負債	38,420	111,758
役員退職慰労引当金	467,547	500,453
退職給付に係る負債	48,813	52,105
資産除去債務	63,543	321,884
その他	1,220,106	1,345,521
固定負債合計	9,943,941	13,934,146
負債合計	18,355,355	21,846,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	12,567,295	13,479,318
自己株式	△4,091	△4,204
株主資本合計	14,243,804	15,155,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,302	62,000
その他の包括利益累計額合計	68,302	62,000
純資産合計	14,312,106	15,217,713
負債純資産合計	32,667,461	37,063,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,973,846	14,322,283
売上原価	9,448,136	10,591,388
返品調整引当金繰入額	—	2,559
売上総利益	3,525,710	3,728,335
販売費及び一般管理費		
販売促進費	444,189	407,513
役員報酬	143,343	179,083
給料手当及び賞与	209,373	230,150
賞与引当金繰入額	7,258	7,062
退職給付費用	21,565	19,683
役員退職慰労引当金繰入額	6,965	32,905
その他	689,354	1,030,962
販売費及び一般管理費合計	1,522,050	1,907,361
営業利益	2,003,659	1,820,973
営業外収益		
受取利息	2,401	2,636
受取配当金	14,941	9,920
その他	28,528	32,661
営業外収益合計	45,871	45,218
営業外費用		
支払利息	27,442	78,084
その他	3,203	45,278
営業外費用合計	30,645	123,363
経常利益	2,018,885	1,742,828
特別利益		
固定資産売却益	—	85,453
投資有価証券売却益	32,676	—
特別利益合計	32,676	85,453
特別損失		
固定資産除売却損	—	27,694
特別損失合計	—	27,694
税金等調整前四半期純利益	2,051,561	1,800,586
法人税、住民税及び事業税	749,343	626,595
法人税等調整額	40,015	82,349
法人税等合計	789,358	708,945
四半期純利益	1,262,203	1,091,641
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,262,203	1,091,641

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,262,203	1,091,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,107	△6,301
その他の包括利益合計	1,107	△6,301
四半期包括利益	1,263,311	1,085,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,263,311	1,085,339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	福祉介護事業(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	12,543,888	429,958	—	12,973,846	—	12,973,846
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22,050	—	22,050	△22,050	—
計	12,543,888	452,008	—	12,995,896	△22,050	12,973,846
セグメント利益	2,080,848	293,999	—	2,374,847	△371,188	2,003,659

(注) 1 「福祉介護事業」セグメントは、当第3四半期連結会計期間末より新規連結のため、売上高及び利益の記載はありません。

2 セグメント利益の調整額△371,188千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社アルプスの杜の株式を取得し、連結の範囲に含めております。

取得原価の配分が完了していないため暫定的な金額ではありますが、当該事象により発生したのれんの金額は「福祉介護事業」において254,852千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当第3四半期連結会計期間末において、株式会社アルプスの杜を連結子会社としたことに伴い、同社が運営する「福祉介護事業」を新たに報告セグメントといたしました。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	福祉介護事業	電気事業	コンテンツ事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	12,315,644	421,848	575,205	232,447	777,137	14,322,283	—	14,322,283
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	21,540	25,740	—	—	129,629	176,909	△176,909	—
計	12,337,184	447,588	575,205	232,447	906,767	14,499,192	△176,909	14,322,283
セグメント利益又は損失(△)	2,134,416	212,908	△76,161	△14,398	39,788	2,296,552	△475,579	1,820,973

(注) 1 セグメント利益の調整額△475,579千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度において非連結子会社でありました、株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを重要性が増したため連結子会社としたことに伴い、同2社が運営する「コンテンツ事業」を新たに報告セグメントといたしました。